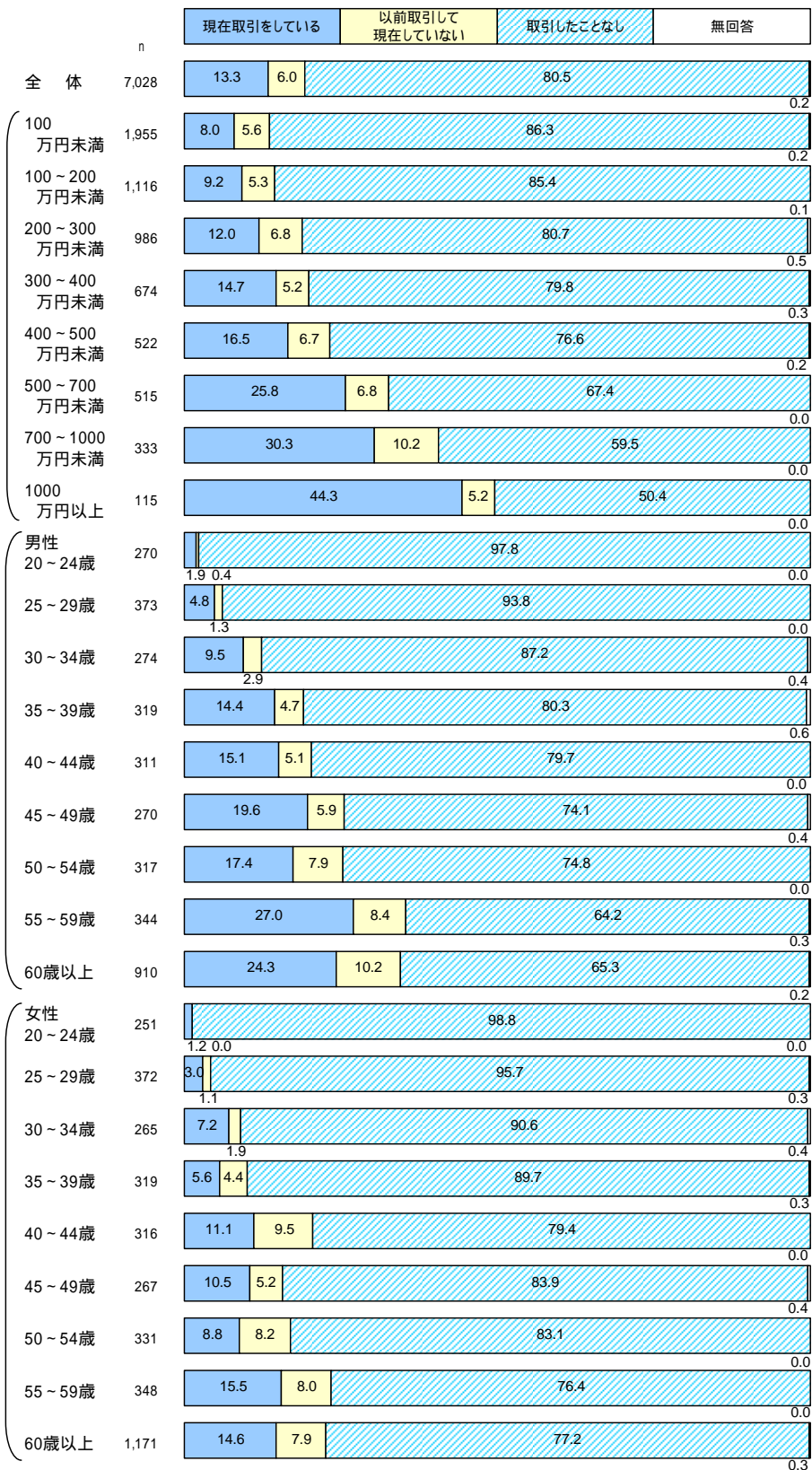


(1) 証券会社との取引状況 (問 46)

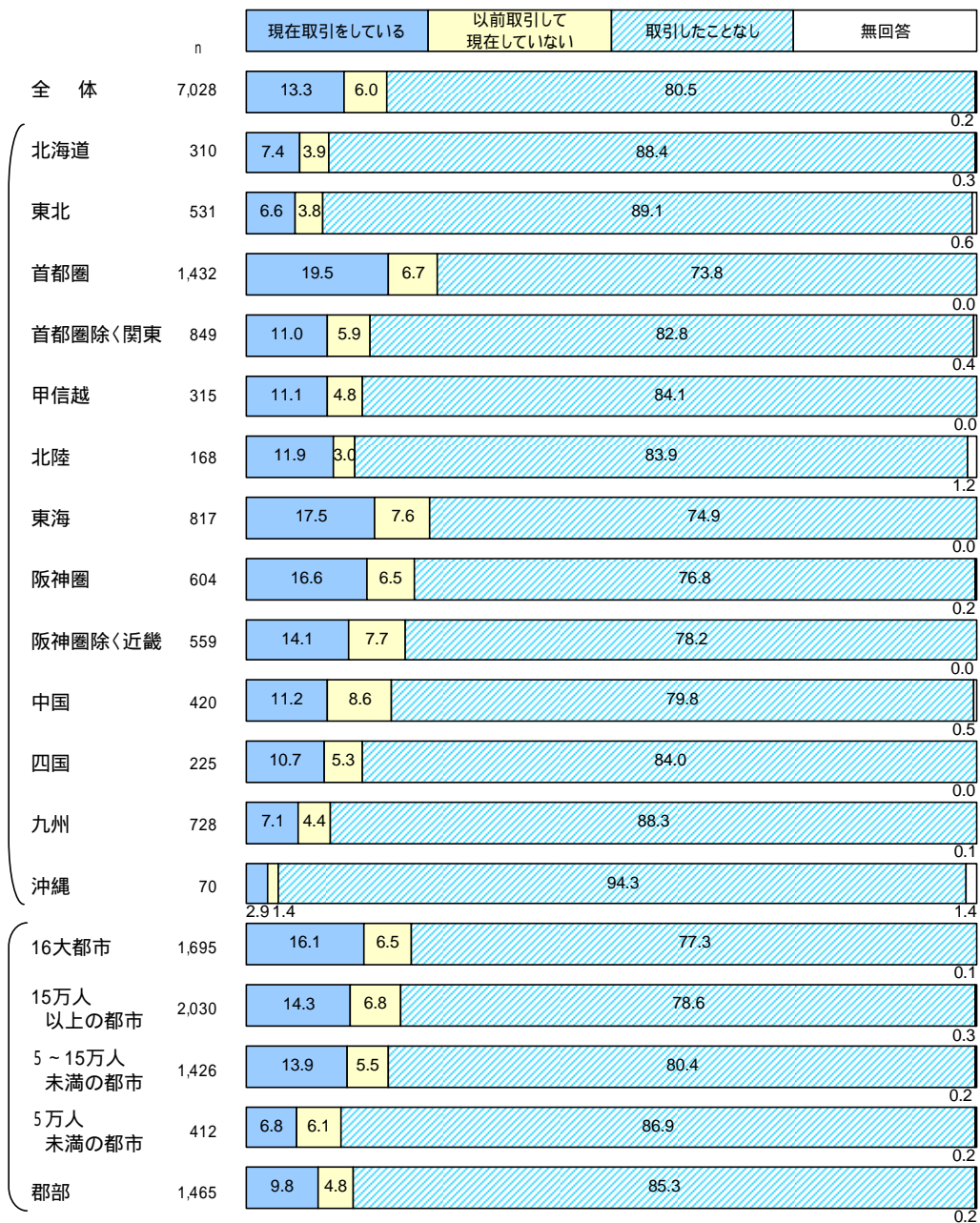
証券会社との取引状況を見ると、「現在取引をしている」が13.3%、「以前取引していたが、現在は取引していない」が6.0%である。両者を合わせた証券会社との取引経験率は19.3%である。一方、「これまでに取引したことがない」は80.5%である。
 年収が多いほど、また、男女とも年代が高いほど「現在取引をしている」割合が高い。

図表 8-1 証券会社との取引状況 (問 46) / 年収、性・年代別



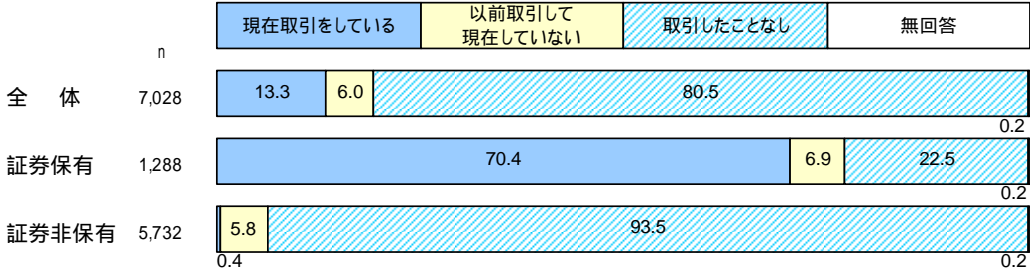
地域別で「現在取引をしている」割合をみると、首都圏の19.5%を筆頭に、東海(17.5%)、阪神圏(16.6%)などで高くなっている。

図表 8-2 証券会社との取引状況(問46) / 地域・都市規模別



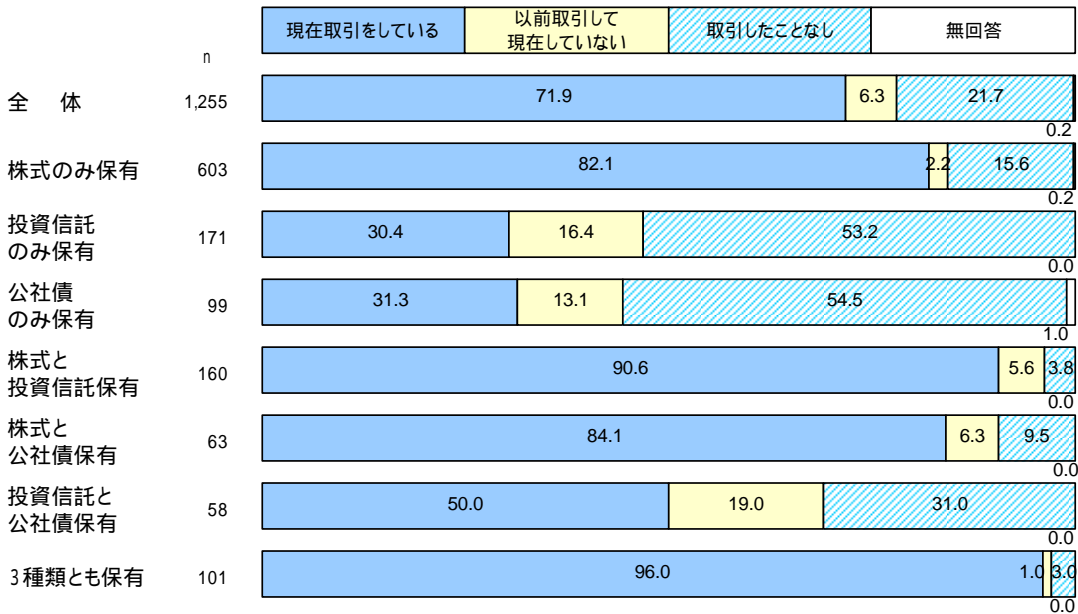
証券の保有状況別でみると、証券保有者は「現在取引をしている」が70.4%、「以前取引していたが、現在は取引していない」が6.9%、「これまでに取引したことがない」が22.5%となっている。非保有者は「これまでに取引したことがない」が93.5%とほとんどを占める。

図表 8-3 証券会社との取引状況（問 46） / 証券の保有状況別（問 2）



証券の重複保有状況別でみると、「現在取引をしている」割合は、「3種類とも保有」している人では96.0%に及ぶ。「株式のみ保有」している人の「現在取引をしている」割合も82.1%と高い。また、併用保有数が多いほど「現在取引をしている」割合も高い。

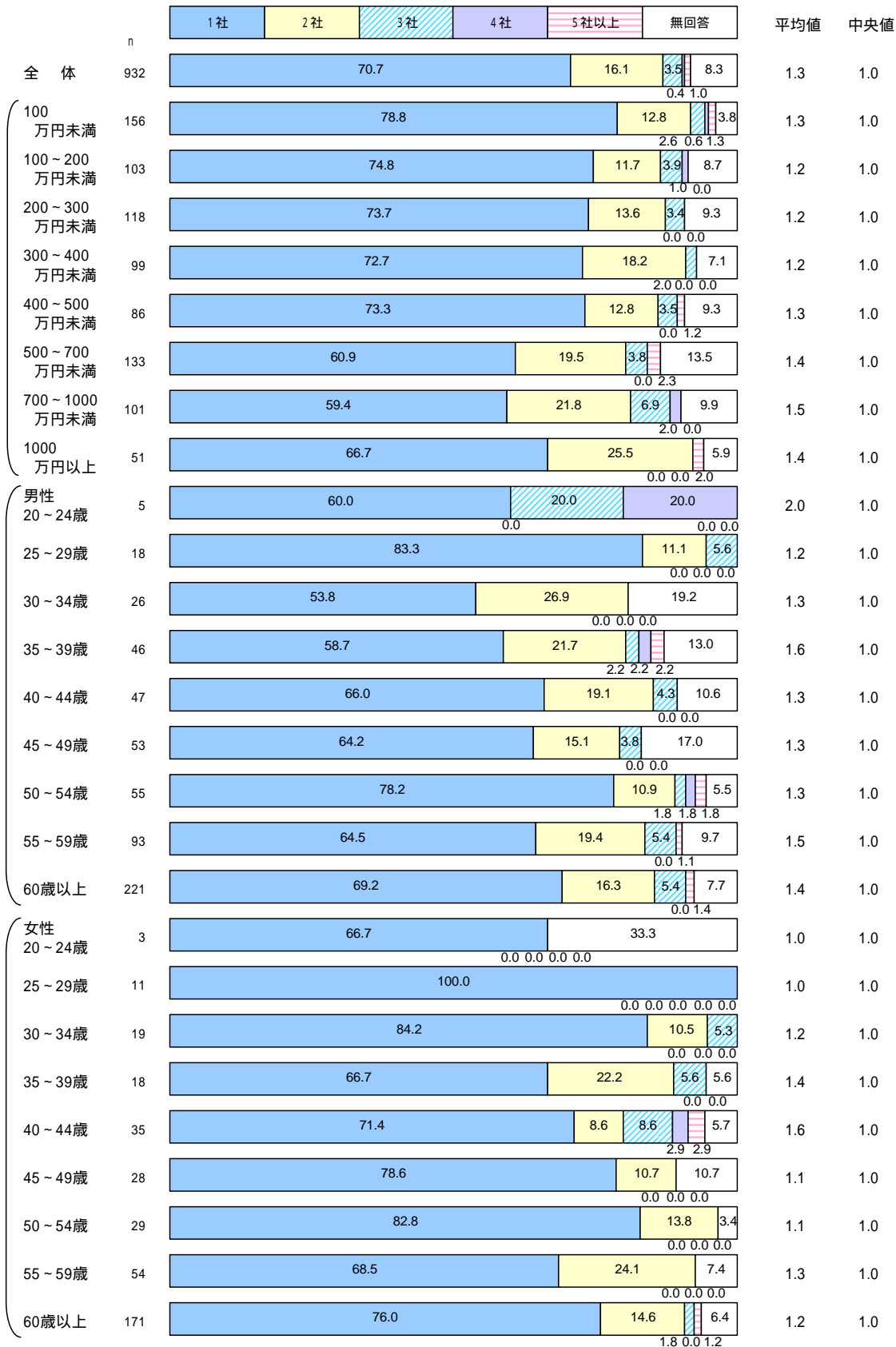
図表 8-4 証券会社との取引状況（問 46） / 証券の重複保有状況別（問 16、36、42）



(2) 現在取引している証券会社数 (問 46)

現在取引をしている人の取引証券会社数は、平均で1.3社であり、「1社」と「2社」で86.8%と大部分を占めている。

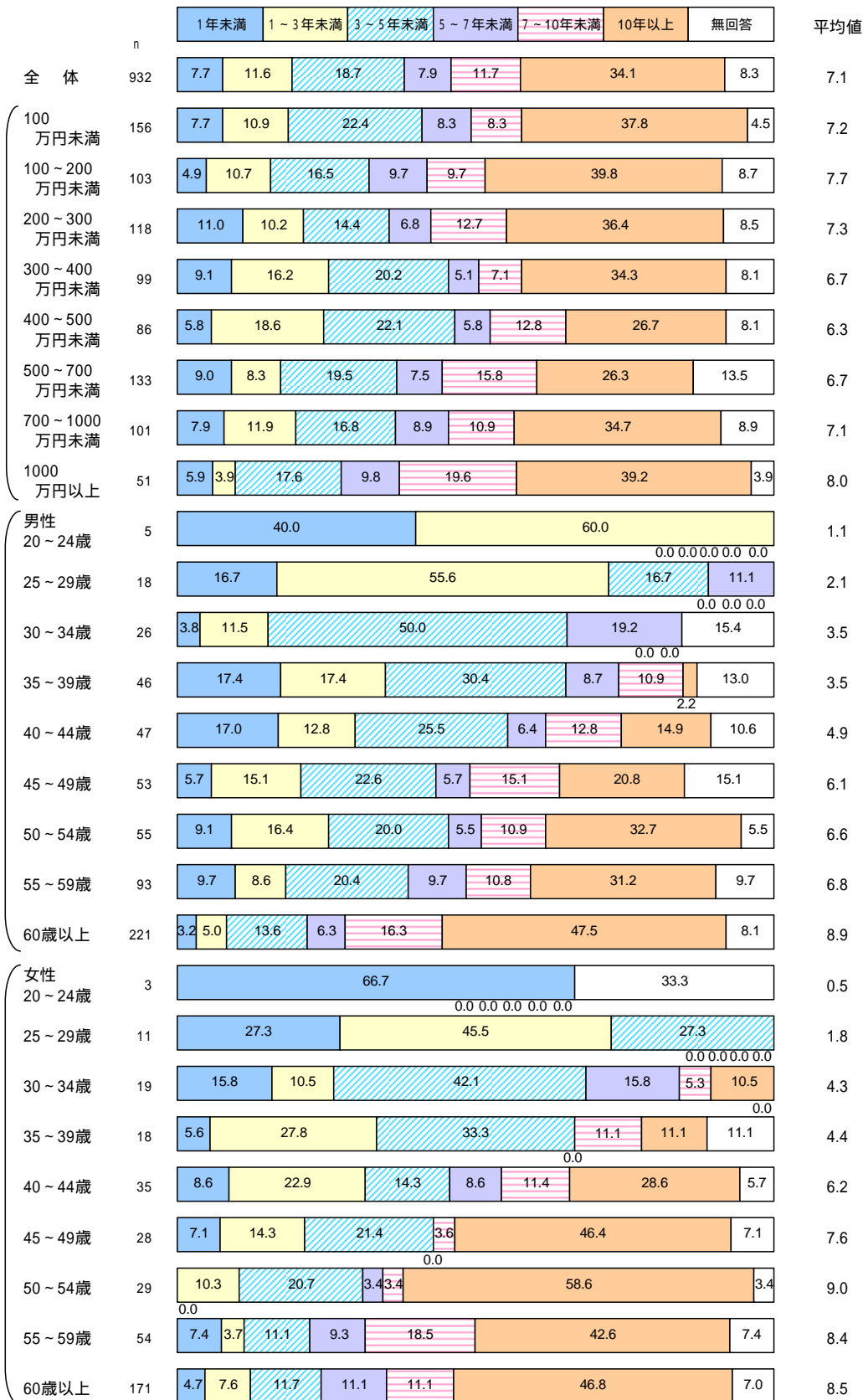
図表 8-5 現在取引している証券会社数 (問 46) / 年収、性・年代別



(3) 中心となって取引している証券会社との取引年数 (問 46-1)

中心となって取引している証券会社との取引年数は、「10年以上」が34.1%と最も高い。

図表 8-6 中心となって取引している証券会社との取引年数 (問 46-1) / 年収、性・年代別

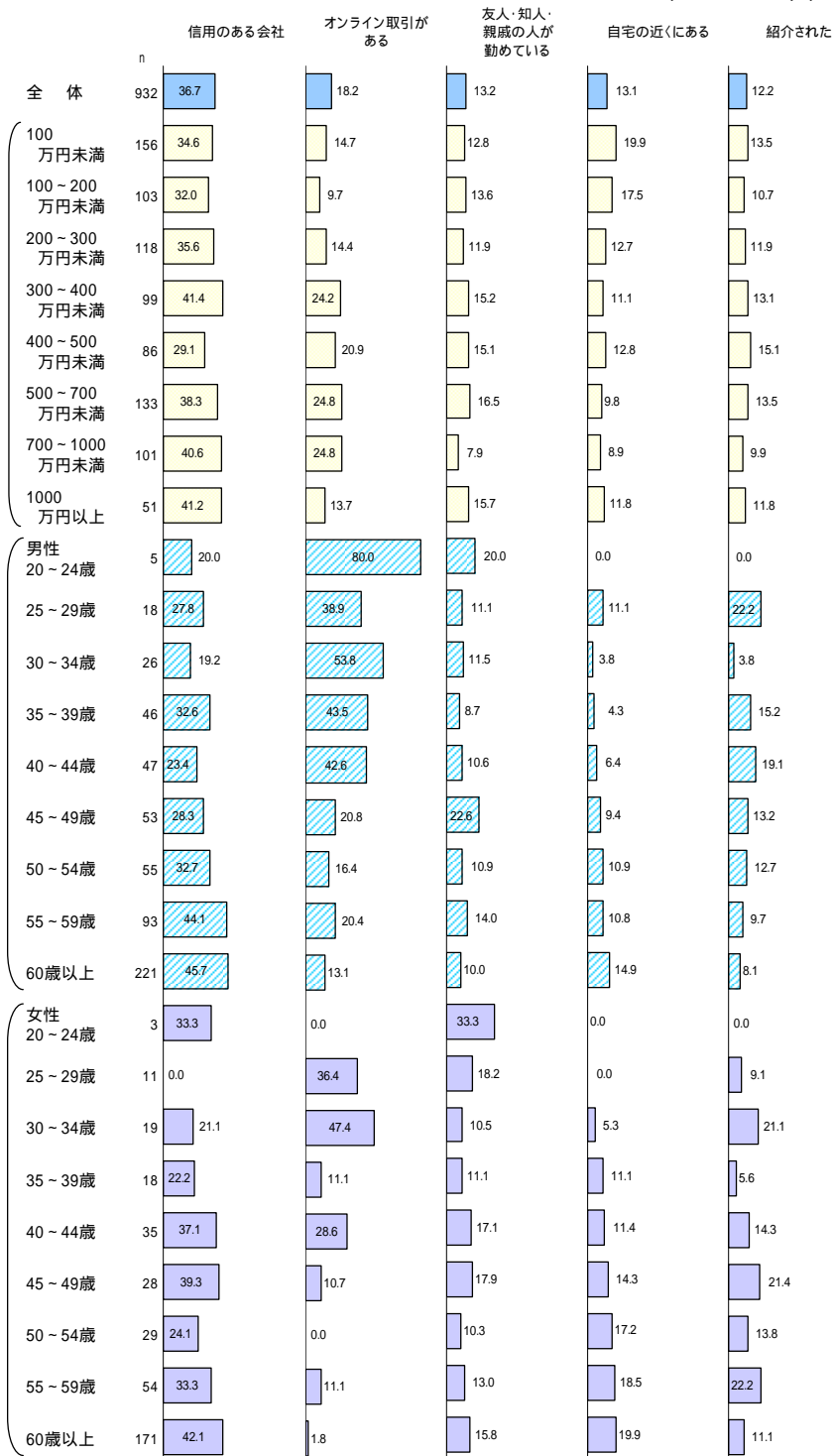


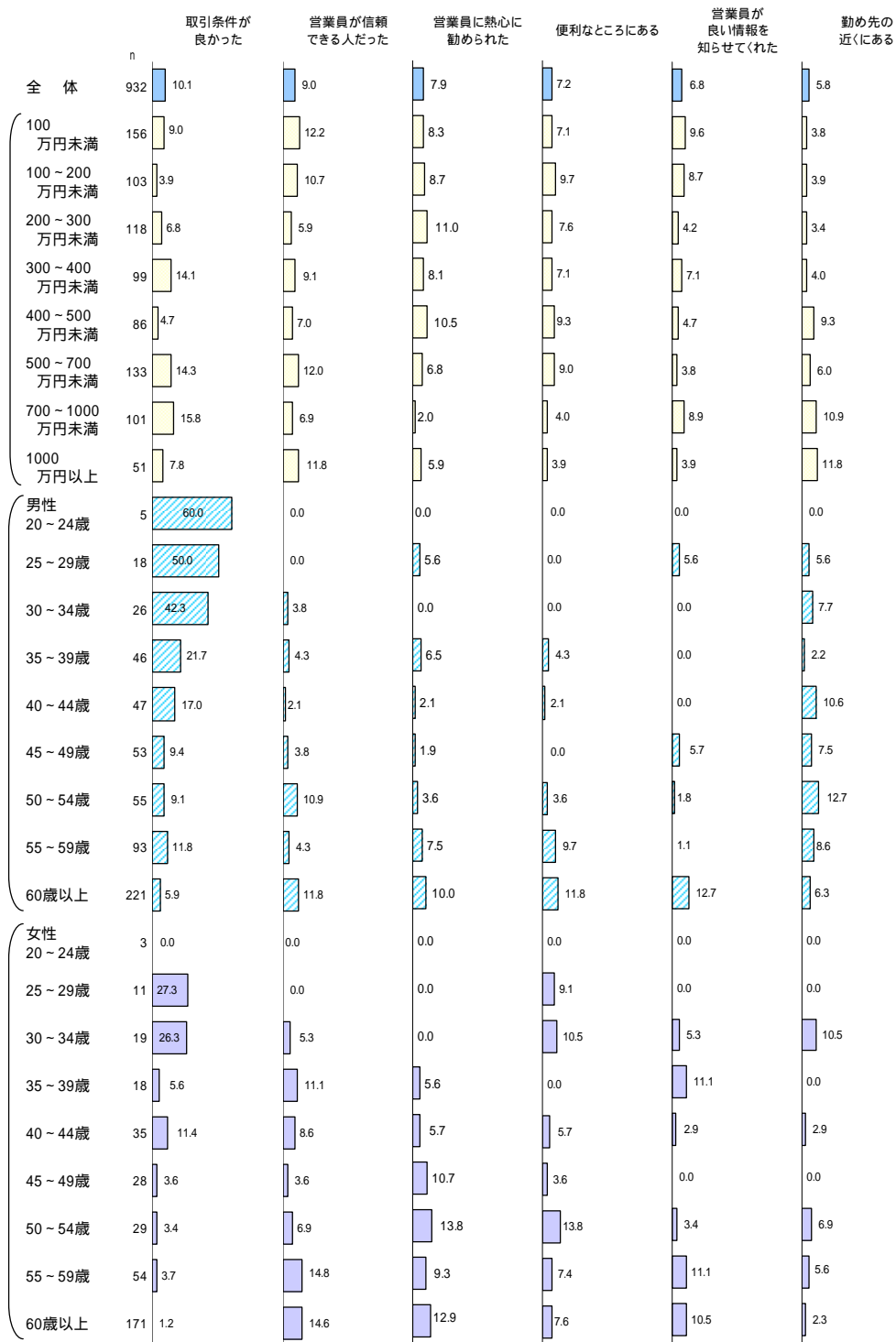
(4) 中心となって取引している証券会社の選択理由(複数回答)(問47)

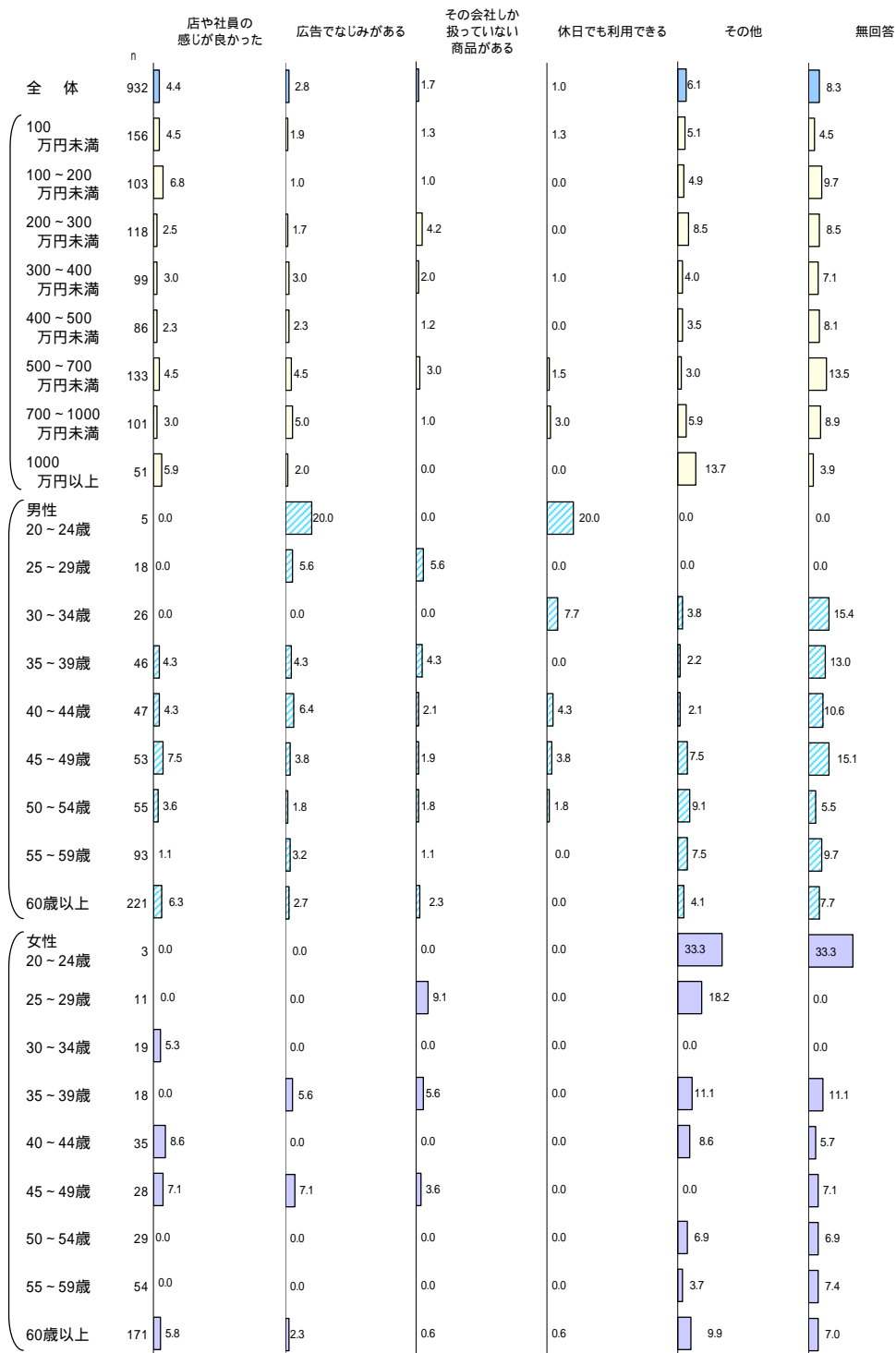
中心となって取引している証券会社を選んだ理由については、「信用のある会社だから」が36.7%で最も高い。次いで「オンライン取引(インターネット取引)があるから」が18.2%で続く。以下、「友人・知人・親戚の人が勤めているから」(13.2%)、「自宅の近くにあるから」(13.1%)「紹介されたから」(12.2%)などが上位に挙がっている。「信用のある会社」が最も重視され、「自宅の近くにある」という利便性なども大切な要素となっている。

サンプル数が少ない層もあるが、男性44歳以下は45歳以上よりも「オンライン取引(インターネット取引)」を理由に挙げている割合が高い。

図表 8-7 中心となって取引している証券会社の選択理由(複数回答)(問47)/年収、性・年代別

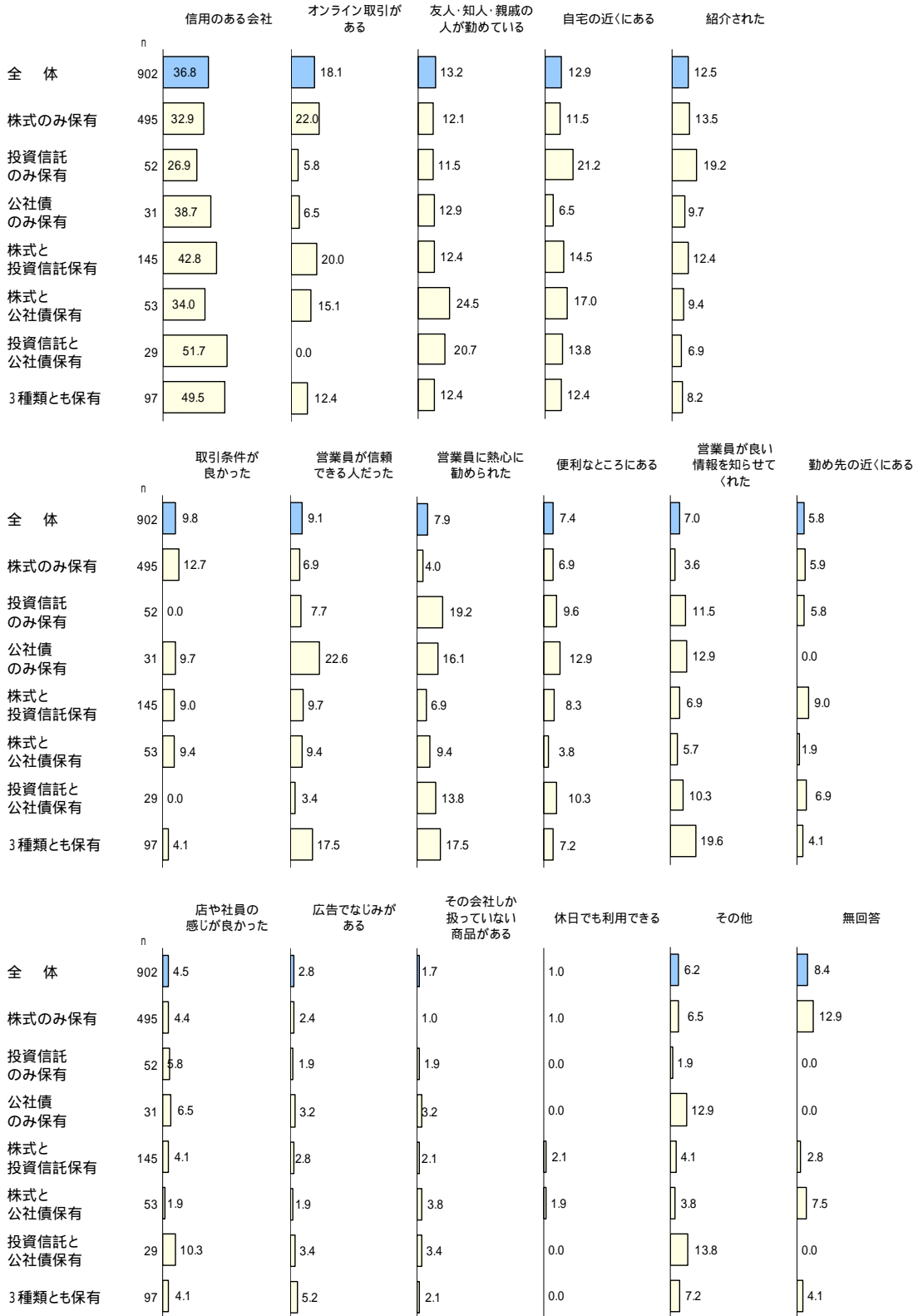






証券の重複保有状況別でみると、サンプル数が十分でないが、「営業員に熱心に勧められたから」は「投資信託のみ保有」、「公社債のみ保有」、「投資信託と公社債保有」、「3種類とも保有」で高い傾向がみられる。

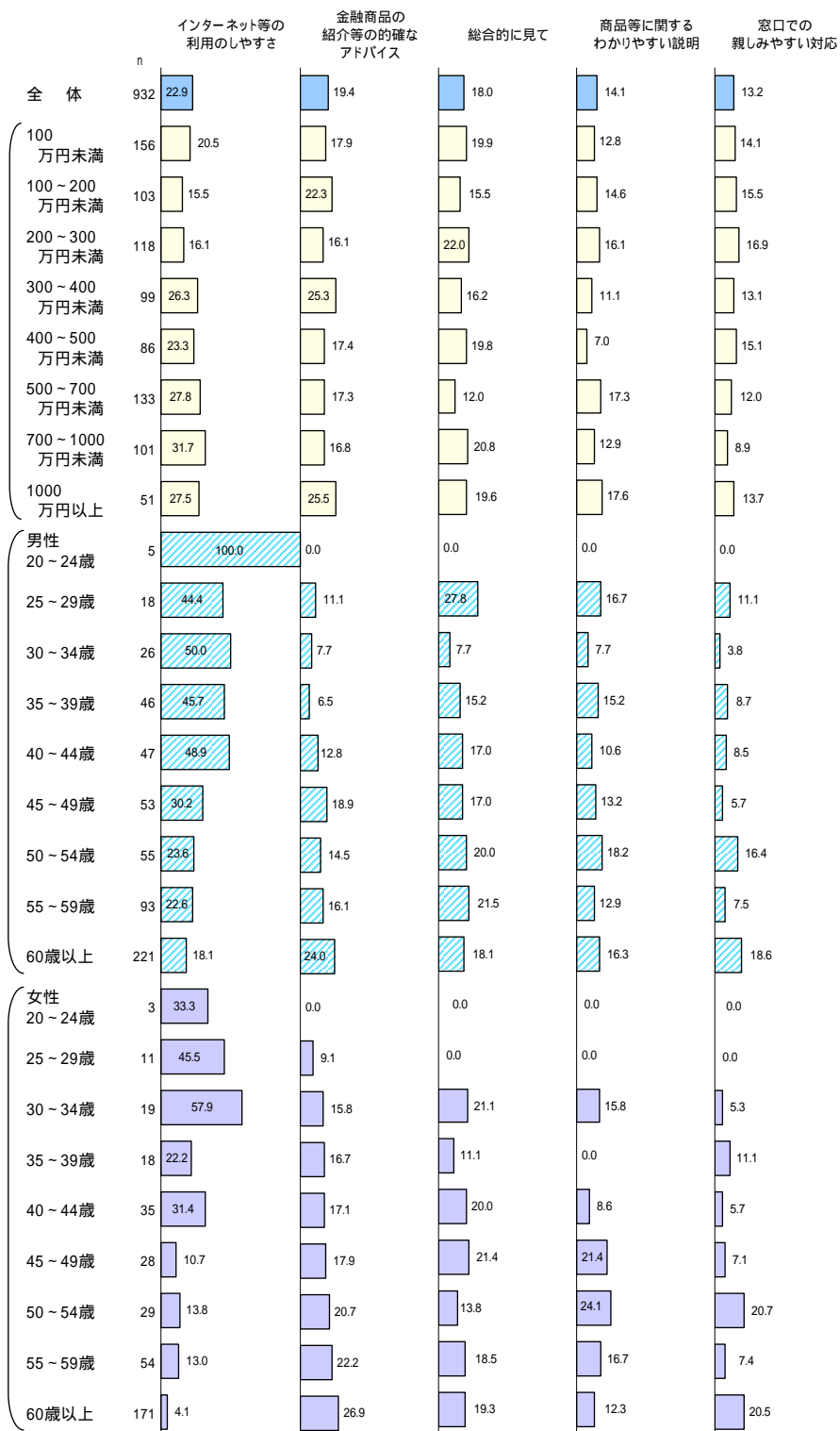
図表 8-8 中心となって取引している証券会社の選択理由（複数回答）（問 47）
／証券の重複保有状況別（問 16、36、42）

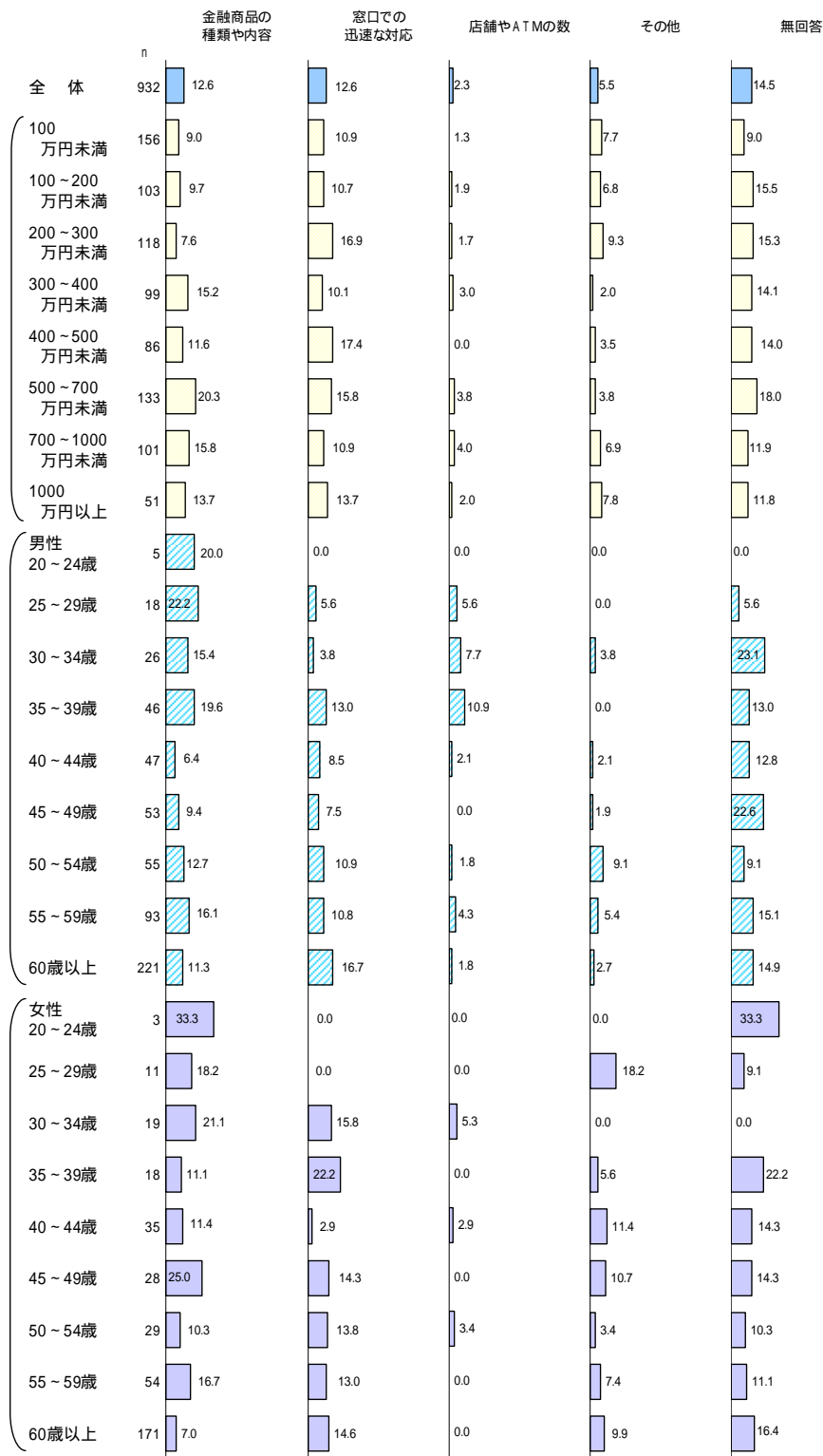


(5) 証券会社利用時の満足点（複数回答）（問 48）

証券会社利用時の満足点については、「インターネットや電話での利用のしやすさ」が22.9%でトップ。次いで、「自分にあった金融商品の紹介などの的確なアドバイス」（19.4%）、「総合的に見て」（18.0%）が続き、以下、「商品やサービスに関するわかりやすい説明」（14.1%）、「窓口での親しみやすい対応」（13.2%）など、1割台のものが続く。
 サンプル数が少ない層もあるが、男性は高年層よりも若年層の方が「インターネットや電話での利用のしやすさ」の割合が高い。

図表 8-9 証券会社利用時の満足点（複数回答）（問 48） / 年収、性・年代別





(6) 証券会社に対する要望（自由回答）（問 49）

証券会社に対する要望を自由記述で尋ねた（回答数 483 名）結果を「証券会社との取引状況（問 46）」別にみたところ、証券会社と「現在取引している」人からは、「顧客対応（勧誘・説明方法等）改善」、「手数料等の引下げ」、「（客観的で信頼できる）情報提供」などの要望が多く挙げられている。

「取引したことがない」人については、「商品説明のわかりやすさ、資料の見やすさ」等のわかりやすさが求められている。証券会社への要望は、取引経験の有無に関わらず、現顧客・潜在顧客への対応改善が求められていることがうかがえる。